

Ŋ の何物でもなく大変残念 なければ答弁の要求は 弁は就任以来理想論であ の質問に対し、 に思う。ただ今までの私 < の実行計画書が何もな までについてもそれぞれ 流」からの挑戦1 の計画での「環境」と「交 とカントリーおおとよ」 されていない。 なかんずく「ゆとりす 実行計画書の提出が 信頼性に欠ける以外 町長の答 から7 U

> ご理解いただけるよう ている。住民の皆さんに いささかも変わっておら 念は立候補したときから 私自身町長としての信

学校外国旅行教育、本来毛牛の委託、教育費の中域交流事業、農業費の褐 岩崎町長 を求めてお の目的等、計画書の提出 域交流事業、

むしろより強く持っ

黒石の農協施設の

重油流出に伴う

報告書に思う

র্ট্



協からの報告内容は何の 報告を求めていたが、 意と事故の顛末について

農

書の大事な文言が削除さ

れていることを申し

上 げ

に暮らす住民にとり最も

社会資本の中でも山村

佐藤德治議員

生活に直結する道路整備

この件の私の要約-

た文

誠意のある文章ではなく

ておく。

7

政の長として、

加害者で

るのかということを申 民は安心して大豊に住め

U

ある農協に対し厳重な注

Ē

12月議会における

係団体を監督指導する行 る立場から発言をし、 会議員として、

町民を守

このような行政執行で

関

ц

何をもって善良な町

れ住民の声を代弁する議 東土居の被害者に依頼さ

ą

拠も全くなく心外であ 田の土を採取した検査証 と農協からの当事者の水

う。

後の取り組み姿勢を問

で水田を耕作されている

において、

私が中屋地区

小笠原春行議員

納得のゆく内容ではな

い。行政からの指導文書

この件は22年12月議会

答 県に対して提案してきた
我則制度を導入
混用するの

厚生労働省が閣議決定

前野由和議員

るか。 援センターの判断に任す 介護保険から外す内容の 案の概要は、 という内容を把握して 基準はなく、 ようである。 全国一律の 要支援者を 市町村や支 い

特別養護老人ホーム大豊園

している介護保険法改正 し、今国会に提出すると

ない。

経過もあり実施する きかという検討はしていて、どういう対応をすべ

答問

住民の皆さんにご理解いただける本町独自の施策を要求する

 $\supset$ いる介護事業者の移動費 前野由和議員 いて町は導入する考え の一定額の援助制度に 県で制度化を検討 して

岩崎町長

はあるのか。

大豊町の場合、 -ビスにおいて非常に 介護

岩﨑町長

現時点で町村におい

サ

ように、更に取組を進めていく 小笠原春行 議員

町としての将来に向けて ついて意思表示はされて 治 いるが、それに対する本 町長就任 また県政について現 以来、 中央政

> 施策を要求する 存型であり、 が国・県の補助事業の依 本日提案された議案全て の実行施策が何もなく 本町独自の

度も提出を求めたが提出 えただけである。任期も就任以来巧みに表現を変 からの大豊の将来に向け た実行計画書を、 あと2年半であり、 また、各論についても 私は何 これ

社会資本の整備に 対する今後の取組は

具体的な計画はないが今後検討する式岩地区の道路整備計画は

ントリ ц であり、住民生活の実態 整備を進めることが急務 策の充実など生活環境の 社会資本の整備、防災対 らの計画を実現するに 性が記されている。これ することの必要性、 いても、山村に人が生活 山村環境に根ざした -おおとよ」にお 重要

に沿った施策が必要であ

*З* 会資本の整備に対する今 住民生活に直結する社

る。この社会資本の整備 緊急かつ重要な課題であ や災害危険箇所の多さを 画である「ゆとりすと力については本町の将来計 た社会資本の整備は、 できる日常生活に直結し 痛感し、再認識させられ で走る中、 であった。 た。住民が安心して生活 人々にとって依然として しい自然環境に暮らす 急峻な地形を選挙力-地すべり地帯 厳

岩﨑町長

社会資本の整備を今後も

住民の生活に直結する

しっかりと進めていく。

スター の課題が提起されるもの の在り方について、 に対する地域の生活環境 は近年まれな大雪の中で 今回の町議会議員選挙 Ų 自然の猛威 本町



オーストラリア・メルボルンの中学校との インターネットによる交流 (大豊町中学校) 答問

	人が待機しているか。		て10年が過ぎた。全国で	介護保険がスタートし	前野由和議員	管 現在言連にた	答 現在計画はない		入所待機		● 特別養護老人ホーム		議会だより 秀峰
	なっている。	訳は大豊園13人、嶺北荘	待機者は32人である。内	特別養護老人ホームの	岩崎町長	い画を			、所得機者の現状は				
留県こ対して是案してきた 援助制度を導入、活用す 問介護事業者の移動費への 町独自の介護サービ	介護保険法以外の	来は待機者解消と雇用の	着型特定施設も含めて将	護老人福祉施設、地域密	急経済対策地域密着型介	の小規模施設として、緊	とも可能だが、29人以下	在は集落内で支え合うこ	が想定されていない。現	中長期計画でも施設建設	今議会への提案でも、	前野由和議員	
是案してきた 導入、活用するのか の移動費への	以外の	a°.	について検討を行ってい	を作り、それぞれの課題	ついて嶺北地域で協議会	が、介護医療サービスに	するという計画はない	現在新たに施設を建設	岩﨑町長		画 は。	場確保のための今後の計	E
「     「     「     「     「     「     「     「     「     「     「     「     「     「     「     ぎ     加     と     し     て     に     の      実	前野由和議員	に働きかけていく。	があり、今後とも国、県	おいていろんな点で無理	実施することは、現場に	ビスを全国一律の単価で	また、全国一律のサー	用する。	案してきた経過もあり活	化について県に対して提	援をしてきており、制度	効率が悪く、財政的な支	
本町としての将来に向けての (	していく。	の役割をしっかりと果た	と考えており、町として	ぞれの役割を果たすべき	る方の身になって、それ	実際にサービスを受け	岩崎町長		窓口や担当者の配置を。	望や要望を伝えるための	接主張しにくいので、希	利用者や家族は立場上直	

6